



養父市 一斉避難訓練



9月1日(日)養父市一斉避難訓練が、宿南各地区で行われました。その後宿南小学校に集結、宿南地区合同の防災訓練を行いました。当日は244人が参加し盛大に開催されました。

開会行事の後、DVD視聴・「深刻化する気象災害」養父消防署による「様々な災害への備え」の安全講話を聞きました。その後5班に分かれて防災訓練を行いました。

①車椅子体験



②担架作成搬送訓練



③心肺蘇生法・AED



④ダンボールベッド体験



⑤消火訓練



非常食試食



以上5項目を体験、その後非常食を試食し一斉避難訓練は終了しました。

「自らの命は、自らが守る。」という意識を持ち、万が一に備え、家族、地域で命を守るための最善の行動をとってください。

各戸配布されました 新ひょうご **防災**アクション を活用しましょう。

この事業は、「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」と「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて実施しています。





水害対策促進期成同盟会

8月4日(日)同会の総会及び研修会が(51人出席)ふれあい倶楽部ホールで開催されました。平成30年度事業/決算報告、令和元年度事業/予算計画が承認されました。その後研修会が行われ、八鹿青溪中学校長 廣井文隆先生の恐怖の体験「台風23号を経験して」の、お話を聞きました。15年前の台風23号を、振り返り今後にかせるようにワークショップを行いました。

奉仕作業



8月4日(日)暑い中、ふれあい隊・花水木の会の44人の皆さんでふれあい倶楽部の草取り、草刈り作業をしていただきました。大変綺麗になりました。



地藏盆

8月23日(金)雨が心配されましたが、ヤチャ踊り保存会の皆さんと一緒に盆踊りを楽しみました。



お知らせ



- 9月6日～9月30日(月)小学校夏休み作品展
- 10月 9日(水)交流ミニディ(青山・川東A)
- 10月13日(日)青谿書院塾
- 10月13日(日)～14日(月)秋祭り
- 10月27日(日)村民号(尾道)
- 10月27日(日)養父市総合防災訓練



ラジオ体操



7月22日～8月28日 小学生と地区民一緒に行いました。



草庵先生紹介



青谿書院の庭から青山方面を見た風景。書院の屋根とモミの木の間に建設中の北近畿豊岡自動車道が見える

葵さん作

日記 12

池田草庵は青谿書院のある養父市八鹿町宿南近く、青山という山に囲まれた集落に時折、出かけている。「昼食後、午後の講義『小学』。その後、塾生十数人と青山に登り、周りの景色を見る。薄暮に帰院」(弘化4<1847>年8月6日)

塾生十数人連れて青山に行き、周りの景色を楽しんでいる。

青山は小さな集落で青谿書院の前の道を数十分、山の方に登っていくとある。山の斜面を切り開いて道ができ、家々が建っていた。今も十数軒の家がある。青谿書院という名前は、この青山付近を源流として流れてくる青山川から名づけられた。

草庵はこの青山について「青谿書院記」に次のように書いている。

「谷に沿って登ると、2里ばかりの所に青山村がある。山仕事や農業している家が10軒ほど山の木々に囲まれてあり、わずかに家の屋根が見える。書院の窓からこれを見ると、静かな味わいのある雰囲気だ」青山の「静かな味わいのある」雰囲気に、草庵はひかれていたのだろう。

「午後、青山に行き遊覧。晩までいて帰院」(嘉永元<1848>年9月8日)

「午後、塾生を連れて青山に登り菜を採る。ゆったりとしてから帰る」(嘉永4<1851>年10月15日) その青山で火事があったことがある。「早起き。明け方前、青山で火事がある。それで塾生を連れて青山に行く。夜が明けてから書院に帰る。(中略)青山の8・9軒慰問する」(慶応元<1865>年7月16日)

明け方の青山の火事は、書院からも見えたはずだ。驚いた草庵は、急いで塾生たちとともに駆けつけたのだ。そして書院に戻り、一仕事終わってからまた慰問している。草庵は青山の自然の風景と共に、そこに住む人たちにも心を寄せていたのだ。

(提供 朝日新聞社)